

6 最終需要

東京都財に対する最終需要は73兆2225億円で総需要の44.2%を占める。この最終需要の99.9%は、第2次産業及び第3次産業で生産された財・サービスに対する需要である。

東京都内で消費する都財とその他地域財の最終需要合計は73兆4769億円（輸入を含む）で、これを需要項目別にみると、民間消費が50.0%（36兆7744億円）を占め、次いで政府及び民間の投資等が23.9%（17兆5808億円）である。全国と比較すると、東京都は家計外消費支出の構成比が高く、輸出の構成比が低い（図6-1）。

次に、東京都財に対する都内とその他地域の最終需要合計は、最終財と中間財の計である総需要の44.2%（73兆2225億円）で、全国最終需要の12.5%を占める。最終需要の産業別構成比では、サービス業に対する需要が29.8%を占め、次いで商業（18.0%）、製造業（14.9%）の順になっている。産業を3部門に分けた場合では、第3次産業が74.8%、第2次産業が25.1%と、両部門で最終需要全体の99.9%を占め、第1次産業に対する需要は最終需要の0.1%である（図6-2）。

また、産業別の総需要に対する最終需要の割合をみると、最も高いのが公務で、総需要の99.0%となっており、次いで建設（85.7%）、不動産（74.8%）となっている（図6-3）。

【注】 最終需要

財・サービスの最終的な消費、投資及び輸出をいう。

図 6 - 1 東京都地域最終需要の需要項目別比較

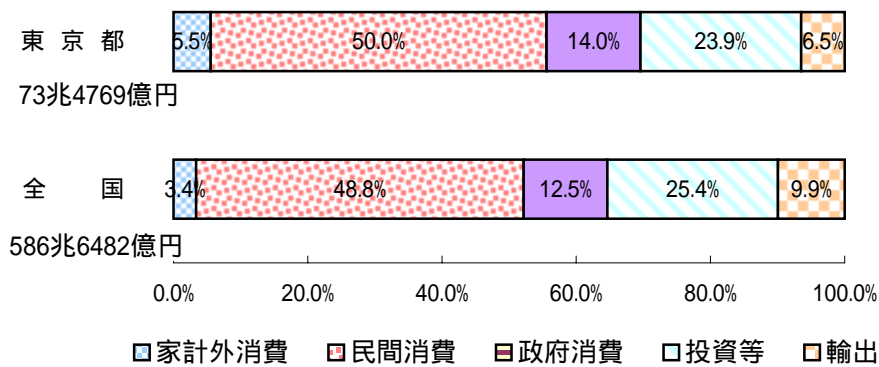


図 6 - 2 東京都財の最終需要産業別構成比

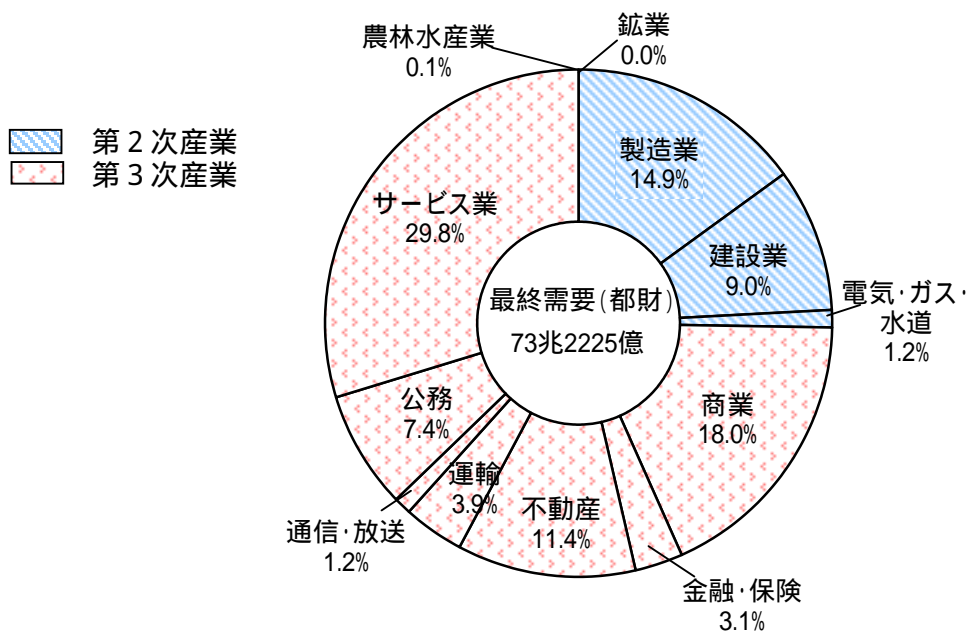


図 6 - 3 東京都財の産業別総需要に対する最終需要の割合

